



【Cons-FIELD 3D】バージョンアップのお知らせ（2019年5月21日版/Ver.1011）

株式会社ピースネット

<http://www.peacenet.co.jp/>



Cons-FIELD 3D

- 〔 1 〕 土木測量データ取込：「土木測量データ取り込み」が正しく動作出来ない場合があった現象を修正。
- 〔 2 〕 設計形状変更：TIN接続形状の編集後の状態を表示するように修正。
- 〔 3 〕 設計データの表示/非表示：TIN表示切り替えが正常に出来ない場合があった現象を修正。
- 〔 4 〕 設計データ出力：TIN接続形状の編集後の状態を3次元設計データ保存可能となるよう修正。
- 〔 5 〕 ファイル保存：「点群処理」機能において表示設定を「点」とした際、座標出力が正しく出力されない場合があった現象を修正。
- 〔 6 〕 TIN出力/3次元設計データ出力：設計データ出力時、以下の内容を修正。
 - ・ファイル名称を電子納品として適切なものとした。
 - ・対象線形の構築物種別（道路・河川）に沿った出力対象横断設定の表示及び設定を可能とした。
 - ・「現在表示中のTINを出力する。」のチェックボックスを設け、出力条件を拡張した。
- 〔 7 〕 実測データ読み込み：オリジナル形式で保存したファイルのTIN生成が特定条件で行われなかった現象を修正。
- 〔 8 〕 点群処理：工事選択時、前回履歴を参照読み込み可能とした。（テキスト形式ファイルを除く）
 - 表示ツリー、機能ツリーに工事名と番号を表示するよう改訂。
- 〔 9 〕 TINデータ出力：TIN生成後、XML出力を行わずに再起動した際、3D形状表示が保持されていない現象を修正。
- 〔 10 〕 機能ツリー：横断形状の保存後、機能ツリーの選択切替を行うと工事設定に戻ってしまう場合があったため、画面切替処理を修正。
- 〔 11 〕 「横断形状の自動伸縮」実行時、対象測点を保持するよう修正した。
- 〔 12 〕 印刷：工事設定、点群処理において表示イメージを印刷可能とした。
- 〔 13 〕 設計入力：法面自動算出を実行後、保存せずに他画面への切り替えた場合でもメッセージを表示して保存可能となるよう修正。
- 〔 14 〕 法面の自動算出を行う際、地盤線との高低差から自動判断していたが、
 - 任意の断面で切土・盛土の選択を切り替えることで作成可能な条件を拡張した。
- 〔 15 〕 中間点、横断形状への画面切替時、画面解像度の条件によって強制終了する場合があった現象を修正。
- 〔 16 〕 設計データ取込み：河川の設計データを読み込んだ際、河川等級情報を取得出来るよう修正。
- 〔 17 〕 設計データ取込み：IP法で算出された路線データを含む3次元設計データを取り込むことが出来なかった現象を修正。
- 〔 18 〕 横断形状：行削除後の接続番号の最適化を図った。
- 〔 19 〕 土木測量データ取り込みが正常に動作しない場合がある現象を修正。